いずみニュースレター

発行元：社会福祉法人いずみ　東京都東村山市富士見町3－4－16
TEL;042－394－1868　平成30年5月発行　第10号

社会福祉法人による 地域における公益的な取り組み

東村山市内社会福祉法人連絡会 会員
社会福祉法人いずみ評議員　長谷川友子

東村山市内社会福祉法人連絡会って何・・？

ということで、「社会福祉法人いずみ」も参加している「法人連絡会」についてお話しさせていただきます。

既にご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、東村山市内で社会福祉事業を行っている社会福祉法人が２７あります。その法人が加入している自主的な組織です。年４回の全体会等で活動内容を検討。（平成２７年７月１６日に発足）

平成２８年の社会福祉法の一部改正により、社会福祉法人による「地域における公益的な取り組み」の実施が責務化されました。厚生労働省は、子供、高齢者、障碍者など全ての人々が、地域・暮らし・生きがいを共に創り高めあうことができる地域共生社会の実現を目指し、住民が主体的に地域の課題を把握して解決を試みる地域づくりへの支援と、複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制づくりを進めています。

こうした中、地域の福祉ニーズに応じた、営利を目的としない社会福祉法人だからこそできる地域での活動を検討し、実施していくことを目的に市内の法人同士が東村山市や社会福祉協議会と連携してまちづくりや社会貢献活動に取り組むためのネットワークとして設立されました。

※（都内で４９の市区町村で社会福祉法人かんのネットワークを作り活動している地域はたくさんありますが、全社会福祉法人が加入する「連絡会」を作ったのは東村山市が初めてです）

そして、法人連絡会地域の公益活動の１つ『暮らしの相談ステーション』が
平成２９年１０月から始まりました。法人の事業として相談支援事業を実施している所が多数存在しますが、市内の社会福祉法人が連携してこの事業を実施する意義は相談窓口や、サービスにたどり着かない人を一人でも少なくすることであり、制度の狭間のニーズを発見し、法人かんで情報を共有し、解決に向けた取り組みへ結び付けることにあると思います。

東村山市民全体が対象であり、各法人に設置された窓口でどの様な相談もできます。相談内容によって自法人で対応できない場合は、社協又は他の法人に紹介します。子供、高齢者、医療、障害種別の枠を超えた取り組みを地域の中に浸透させ、みんなで支えあっていきましょう。

目印は『暮らしの相談ステーション』と書かれたのぼり旗です。

平成 30 年 3 月であゆみの家改修が無事に完工しました。

4 月から新しい環境で活動している事業所を紹介します。

あゆみの家成人部（生活介護事業　定員 20 名）

あゆみの家成人部リニューアル！　活動スペースを広げ、新規受入枠を拡大しました。又、活動場所を 2 階から 1 階に非常災害時も対応しやすいよう変更しました。

・活動室

改修前に比べて 2 倍近くの広さとなりました。

活動スペースが広いだけでなく、中央で仕切ることも可能なので、グループに分かれた活動も行えます。その他にも動線の確保やマットに降りて休んでいる時も利用者の皆さんが、今まで以上に安全で過ごしやすくなりました。

・浴室

これまでシャワー浴しか行えませんでしたが、リニューアルに伴い新しく浴室を設け、機械浴槽 2 台、一般浴槽 1 つを導入しました。
脱衣所はエアコンを設置して快適に着替えが行えます。

浴室もスペースが広く、パネルヒーターを設置して寒い時期にも暖かく身体を安全に洗うことができ、浴槽でゆっくりとリラックスしていただけるようになりました。天井走行リフトで浴室内の移動も可能となり、一般浴槽の入浴も行えます。

・天井走行リフト

活動室での移乗介助に加え、そのままレールを動かすだけで、トイレ、脱衣所、浴室への移動がリフトの付け替えをしなくてもスムーズに移動できるようになりました。利用者の皆さん及び職員の負担の軽減になり、使いやすいです。

このシステムの使用はあゆみの家が日本では２例目の施設となりました。

フロアーと浴室が繋がります。

天井でレールが接続して隣の部屋へ直結します。

・トイレ

トイレを３室作り以前より数が増えたことで、利用者が待ってしまう時間を減らしました。内、２室は天井走行リフトで移動可能となり、簡易ベッドも設置しました。

リフトでの移動が出来る事でスムーズに負担の少ない介助が行えています。

・玄関受付

受付と子機によるカメラ付きのインターホンの応答、受付から玄関自動ドアの開錠を行えるようになり、応答のしやすさと防犯対策を行っています。

多機能型事業所 ひまわり（放課後等デイサービス事業、児童発達支援事業）

平成 30 年 3 月まで富士見事業本部で活動をしていた児童発達支援事業ひまわりと、野口事業本部で活動をしていた放課後等デイサービス事業「スマイル」が一緒になり、平成 30 年 4 月からあゆみの家で多機能型事業所ひまわりとして活動をスタートしました。

多機能型事業所ひまわりの各サービスが分かりやすいよう、平成 29 年度の各事業所名を愛称として使用しながら活動しています。

新所在地：東村山市富士見町１－５－１３　あゆみの家２階

Tel 児童発達支援事業 042-306-3072（以前ひまわりで使用していたもの）

放課後等デイサービス 042-394-7231（以前「スマイル」で使用していたもの）

Fax 共通 042-306-0202（以前「スマイル」で使用していたもの）

放課後等デイサービス事業（こんぺいとう）　定員 10 名

NPO あゆみ時代からずっと過ごしていた野口事業本部を離れ、4 月からあゆみの家 2 階で活動をしています。慣れ親しんだ場所から離れ、環境が変わったことで、不安もありましたが、今は活動場所がとても広くなったので部屋の使い方次第で色々な活動ができるとワクワクしています。

小平特別支援学校に近くなったことや、村山特別支援学校に直接迎えに行くようになったことで、活動室に到着する時間が早くなり、又、活動終了時間も 17：30 から 18：00 に伸びたため、今までより多くの時間がとれるようになり、活動が充実しています。

昨年度ひまわりで助成金を頂いて購入した感覚統合遊具をこんぺいとう活動室に常設し、ひまわりはもちろん、誰もがいつでもすぐに楽しめるようになりました。

活動場所が広くなったので、新規利用者募集中です。

とても広い活動スペース。
野口事業本部の活動室では大きく感じた物も、ここではとても小さく見えます。

真ん中の青いマットも子ども 3 人が寝ころがれる大きさです♪

感覚統合遊具常設！
この活動が好きな子が多く、
笑顔があふれています。

放課後等デイサービス事業　重心（マカロン）　定員５名

マカロンは開設後２年間の野口事業本部での活動を経て、3 年目となる平成 30 年度にあゆみの家２階に移転しました。新しい活動場所は以前より広く、１人１人に合わせて十分なスペースを確保でき、とても落ち着いて過ごせる空間となりました。

こんぺいとうと同様に学校から戻ってくる時間が早くなったこと、活動終了時間が伸びたことにより活動時間にゆとりが生まれ、医療的ケアのある児童に対する受入れ枠を少し広げることができました。

日当たり良好。
壁の１面はおしゃれな曲線ガラス張り♪

児童発達支援事業　重心（ひまわり）　定員５名

今まで、慣れ親しんだライフサポートつばさの２階から離れるのは、場所だけでなく、つばさの利用者さんとも離れるのでとても寂しくもありましたが、より近くなった公園や常設されている感覚統合遊具など手近にアクティブな遊び増えとても嬉しいです。とてもきれいになったあゆみの家で放課後等デイサービスの利用児や成人部の利用者とも交流を図り、楽しんでいきたいと思います。

南側に大きな窓があり、室内は明るくてポッカポカ。

つばさの２階に移転しました。

あゆみの家幼児部（児童発達支援事業：１０名定員）

平成 30 年 4 月より幼児部はつばさ 2 階に移転し、新しい拠点（元ひまわりの場所）での活動となりました。昨年度後半はあゆみの家改修工事に伴い仮拠点での活動となり、色々な場所で遊びましたが、これからは落ち着いた、より充実した場所となります。

活動室は日当たりがよくとても明るいお部屋です。夏のプールも活動室横バルコニーで行え、新たに園芸活動も行えます。近くには中央公園があり散歩や遊具遊び等とてもいい環境です。

幼児部では今後対象児を肢体不自由児や運動発達の遅れを伴う児童を中心としていく予定です。

現在、新規利用児童を募集中です。

新所在地：東村山市富士見町３－４－１６

Tel 042-393-7588（従来と同じ）
Fax 042-394-2066（変更しました）

助成金を頂きました。

・出光文化福祉財団　ひまわりフロア床暖房設置

・NHK 歳末たすけあい　あゆみの家成人部　特殊浴槽設置

ひまわりフロア　床暖房

まだ気温が暖かいので使っていませんが、冬に大活躍予定です。

あゆみの家成人部　特殊浴槽

４月から使用させて頂いています。
(成人部のページ参照)

社会福祉法人いずみへご寄附を頂きました（平成 30 年 4 月）
穂坂由喜男 様　有難うございました。

硝子戸の向こう

連載企画　第１０回

理事長　福岡憲二

あゆみの家改修工事を振り返って

無事これ名馬　あゆみの家改修工事は、平成２９年１０月から３０年３月までの６ヶ月にわたる長丁場の工事であり、その期間、利用者が仮の活動場所（主にいずみホール）では、慣れないために活動に支障が起きないか。利用者に迷惑などが発生しないか。同時に、今回の改修工事は、工事費用を前もって積み立てた上での枠組みではなく、事前の積み立て自己資金が約３分の２、残りの３分の１は活動しながら、その期間に受け取る介護給付費で賄うという、いわば、その日暮らしのやり繰りを骨格とせざるを得ませんでしたので、毎日毎日、無事にいつも通りの活動をできることがいわば前提でした。

　もちろん東村山市の補助、民間の福祉財団のからの助成なども期待しながらの工事でしたが、私の一念は、利用者の無事と同時に、工事の無事が成就する事でした。

結果としては、利用者の忍耐、ご家族のご理解、関係事業所の職員の努力と協力、東村山市、社協ほか関係の皆様のご理解があり、これに和するように名工事が重なり、無事に工事を終えることが出来ました。

４月１４日（土）、工事完工のお披露目を現地で催し、東村山市長、市議会議長、厚生委員長、木原衆議院議員、澤田泉元副市長他の皆さま以外にも、お隣の東村山富士見町住宅の自治会役員の皆様など地域の人々を含めて、総勢約１００名ほどのご来臨を頂きました。誠に光栄で、有り難くもうれしいことでした。この場を借りて改めて、関係の皆様に、厚く御礼申し上げます。

地域の障害児者に　今回の工事の目的は、今後とも通所希望の多い東村山を中心とする地域の障害児・者、特に重度・重複、医療的ケアのある人が、いつでも声を掛ければ、扉が開かれる、安心のできる、安全な場所を提供することにあります。そのため、同時に重度の人たちに一定以上のレベルの支援を提供するため、看護，リハ、生活支援の体制を日常的にレベルアップしていくように法人全体として組織的に、今以上に努力を重ねていきたいと思います。

信頼できる社会福祉法人に　社会福祉法人いずみは平成１７年に創立されて､本年３月で満１３年です。まだまだ経験の浅い法人です。しかし手前味噌ですが、それなりに初期の障害児放課後クラブや重症児の児童発達支援ひまわりなど新分野を開拓してきました。これからも更なる高みに向け、挑戦を続けていきたいと思っています。今回の工事では、ここ数年細々と積み立ててきた自己資金の、かなりの部分を出費したので、手許の現預金が手薄となり、資金流動性が低くなりました。一方で、固定資産が増加しましたので、今後、年間減価償却費が増大し、法人全体の収支差額を圧迫します。経営基盤が良くなっても、いわば瞬発力が低下するわけです。今後、費用負担が重い期間が続きます。法人にとっては厳しい、いばらの道のりです。

　他方では、職員の就業環境の向上を図ることも課題です。福祉事業の内容の向上と拡大のためには、支援員確保上、人件費が増加することは必然です。これらの命題を前提として、将来の法人経営上の収入の拡大と支出の合理化や工夫による節約を行い、それを糧にサービスの向上にきめ細かく配慮していく。今後こんな、難易度の高い配慮が要請されますが、その課題に向かって努力していきます。そうすれば、きっと地域の皆様にご信頼頂ける法人になると信じます。

以上

あゆみの家　お披露目会

あゆみの家改修工事が終わり、２週間ほど経った頃、日頃よりお世話になっている方や、ご関係の方々に来て頂き、4 月 14 日（土）あゆみの家改修完成お披露目会を開きました。

今回、東村山市長 渡部 尚様を始め、多くの方に御越し頂き、ご挨拶並びにご祝辞を頂きました。その後に、改修を手掛けた、村木里会建築設計事務所 管理建築士 山崎 勝己様並びに、株式会社増田コーポレーション 代表取締役 増田 敏喜様に感謝状を贈呈しました。利用者並びに御家族にご挨拶を頂き式典は終了。その後、第 2 部では天井走行リフトの説明や、浴室中心に１階から２階へと改修した場所を見学して頂きました。その後の第 3 部では、東京小児療育病院 院長 椎木俊秀先生にご発声をいただき、東村山市社会福祉協議会 会長 大原喜美子様を始め多くの方にご祝辞をいただきながら歓談。これまでのあゆみの家や将来について等、花を咲かせていました。皆様ご多忙の中お越し下さり、誠にありがとうございました。

今回、活動スペースが広がり、多くの利用者が通える環境が整いました。これからも地域に根差した施設として、積極的に利用者の受け入れを行っていきたいと思います。

披露式（1 階）

椎木 東京小児療育病院長による乾杯（2 階）

<u>今後の行事について</u>

あゆみ合同まつり

日　時：5/27(日)11：00～15：0 0　*雨天決行
場　所：市立南台公園
　　（雨天時 生活実習所、あゆみの家）
参加費：無料（模擬店のみお金がかかります）
★ビンゴ大会で豪華景品も当たります！

いずみ講演会

日　時：6/23(土)13：30～16：00（受付 13:00～）
講　師：東京小児療育病院 院長 椎木俊秀 先生
テーマ：個人の尊厳と多様性の尊重について考える
場　所：あゆみの家１階　成人部フロアー
　　入場無料（予約不要）

～編集後記～　平成 30 年度が始まり 1 ヶ月半が過ぎました。今回のニュースレターで紹介させて頂いたとおり、社会福祉法人いずみにおいて、大きな変化を伴った時期となりました。徐々に新しい活動場所に慣れてきてようやく落ち着いてきました。まだ十分に使いきれていない設備もあるため、使い方等を試行錯誤しながら、より良い支援に繋げていきたいと思っています。

多機能型事業所ひまわり　小山大志